

2024年度生物多様性に係る 愛知県とブラジル・サンパウロ州とのユース交流プログラム

<プログラムテーマ>

文化と生物多様性

<参加者>

愛知ユース5名、サンパウロユース4名

<事前学習会>

交流会に向けた事前学習として、海上の森センターや犬山里山学研究所など、今回のテーマに関連のある場所を見学するほか、JICA中部を訪問し、ブラジルの風土や文化について学習するためのプログラムを受講。

<交流会（オンライン）>

○第1回交流会2024年12月3日

愛知ユースからは、ウナギの食文化や陶磁器生産と森林のかかわりについて発表。

サンパウロユースからは、メリポニ（針の無いハチ）を使った養蜂やマンタの保全プログラムなどについて発表。

○第2回交流会2025年2月13日

愛知ユースからは、瀬戸焼の特徴や、焼物の生産に必要な熱源として樹木が伐採されたことにより生じた森林破壊と、その後復旧された森林の保全活動などについて発表。

サンパウロユースからは、メリポニを使った養蜂について、その生態、生態系における役割、それに係るジェンダーや経済的な問題について発表。

<成果発表>

生物多様性ユース会議（2025年3月1日）において、県内のユースや多様な主体・世代に向けて発信。

<第1回交流会の様子>



<サンパウロユースの発表資料>

